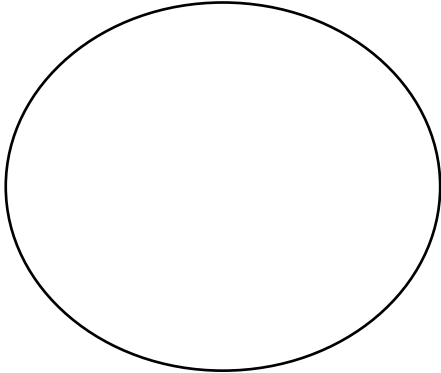


| | | |
|--------|--|--------------|
| Why? | Who? | <u>Whow?</u> |
| When? | What?  | Where? |
| Which? | Whose? | Whom? |

| |
|---|
| <p align="center">九会マンダラ思考法</p> <p>これは金剛界曼荼羅とマトリックスが融合された思考法です。Whatの主題を中心に、九つの疑問に全て答えながら思考展開することで、物語性のあるプレゼンや新しい企画が生まれます。Boxに書き出すことで頭の中が整理され、一度視覚化された情報は伝達力もアップします。</p> <p align="center">Nine-What's Mandala Thinking</p> |
| <p align="center">8W1H</p> <p>Howの語源はWhowで程度(どれくらいか)を意味していました。How to(どのように)の中身はWhich(手段・方法の選択)、Whose(だれを味方に付けて)、Whom(だれを対象にするか)に置き換えられるので、WHAT疑問詞構文のオールキャストは8W1Hになります。</p> <p align="center">How is also <u>Whow</u>.</p> |
| <p align="center">リスクとチャンス</p> <p>Which、Whose、Whomについては人から物事へも拡大が可能です。この三項目についてはリスクとチャンスに関係して来るので特に見逃せません。全体的にお互いに最適な組み合わせを固めてから実行に移します。もしも迷ったら、Why(目的とねらい)を見直すと良いでしょう。</p> <p align="center"> http://www.8w1hflkm.com by Ken Chijimatsu </p> |